

【保育学科】第58回 中・四国保育学生研究大会に参加

【学生の感想】

- ・自分たちと同じような課題に取り組んでいる学校もあれば、全然違った角度から保育について研究したり、表現したりして保育の仕方や考え方は様々だと感じました。
- ・こんなにも保育に関連することを研究している仲間がいて、保育士になるためにみんな頑張っているのので、私も日々努力して保育力を高められるよう頑張りたいです。また食育について今後も研究していきたいし、食べ物に感謝する心を忘れず、大切に伝えていきたいです。
- ・他の大学の人は、オペレッタやパネルシアターなど子どもたちの興味を持つものもあり、これから現場に出たとき役に立つなと思いました。子どもの心だけでなく私たちの心まで引き付けていてすごいなと思いました。ステージに立っている人もイキイキしていて素敵だなと思いました。
- ・他の人たちの発表を見たり、聞いたりして、みんなよく調べてまとめていてわかりやすかったです。劇などストーリー性があり声も出ていて迫力のある発表だと思いました。

【担当教員 三川明美准教授のコメント】

4月から約8か月、学生たちは実習棟で時間も限られる中で研究に励んできました。前期は集中して料理作りを行いました。後期は行事の多い中まとめの作業に入りました。発表前は緊張で日頃の元気さはどこかへ行っていましたが、いざ発表を始めると堂々と自分たちが研究してきた成果を発表してくれました。フロアの先生からの質問にも的確に答えることができ、これまでやってきたことの成果がやっと現れたのかと言う思いでした。講評も良い評価をいただき、また今後に向けての貴重なアドバイスをいただきました。この研究が今後の就職の現場に活かされることを願っています。